《どうでもいい話、その628》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

　自民党派閥をめぐる事件で、派閥からキックバックを受けたり、パーティー券収入をプールしたりするなどの“裏金”いわゆるズルが世間を騒がしています。手元の辞書で“ずるい”を引くと≪自分の利益のために、ごまかしてうまく立ち回る。知らない顔をして、すべきことをなまける≫と書いてあります。まさに裏金政治家です。なんでも表があれば裏があるもので、女性が本来大した顔でもないのに化粧をして美しく見せる、また年をとっているのに若く装うなども裏ズルです。また飲み会で仲間と鉄板焼きに行ったときに、ワリカンなので食べる量はみんな平等にしようと、一回に取る焼いた料理の適量が協定され鉄板上に世話役が分配します。そして適量かどうか相互監視の中で繰り返されます。そのうち、仲間の一人がみんなワイワイ騒いでいるスキに他の人の分も取って食べ、それを見た人が「あ、ズル！」と叫びます。“ズルへの叫び”です。「そんなことを書いている岩波はズルしたことがないのか～？」「記憶にございません」

岩波より